

稲穂北に輝く にぎりめし



令和4年度 穂北中学校だより

8月号

穂北中HP

校長

伊東 泰彦



修学旅行、楽しく過ごしました！



鹿児島にて



宿舎前での記念撮影



錦江湾クルージング



熊本城



グリーンランド



知覧・特攻平和会館



維新ふるさと館



コロナ禍により、修学旅行はその行き先や在り方が様々な観点から模索されるようになりました。本校ではリスクを最小限に抑える観点などから、

今年度は鹿児島・熊本での学びを展開。新しいと学での学習も踏まえ、県外と比較することで郷土の魅力が再考する調査も兼ねています。出発前は突

然の台風接近で大変心配しましたが、無事に予定の日程を進めることができ、思い出深い修学旅行となりました。お疲れ様でした。

初開催！さいと学アワード校内予選

市のアワードに出場する最優秀賞(左)と優秀賞(右)のプロジェクト



ICT普及プロジェクト



SDGsエコバッグプロジェクト



地域花やか花いっぱいプロジェクト



参観する保護者や地域のの方々



中山隆氏

福島梓氏

花いっぱいプロジェクトの結びの言葉

**That's one small step for a student,
one giant leap for Hokita JHS !**

(これは1人の生徒にとっては小さな一歩にすぎないが、穂北中にとっては偉大な飛躍である！)

※アポロ11号のアームストロング船長の言葉 (本来は、赤字部分が「1人の人間」「人類」)

を引用し、自分たちの挑戦の大きさを表現しています！ お見事！

【審査結果】

最優秀賞 … 地域文化の紙芝居プロジェクト

優秀賞 … 臼太鼓継承プロジェクト～下水流臼太鼓とはなんぞや～

▲以上2チームは、8/1のさいと学アワードに出場

ベストラーニング賞 (探究的な学びが素晴らしい) … 地域花やか花いっぱい

ベストコ・クリエーション賞 (地域との協働が素晴らしい) … SDGsエコバッグプロジェクト

ベストオーナーシップ賞 (主体性が素晴らしい) … ICT普及プロジェクト

西都市内の中学校では、今年から内容を刷新したさいと学がスタートしています。特に中3では、地域に貢献するプロジェクトを展開し、そこで学びをアウトプットする発表会「さいと学アワード」が目ざされておられ、7月12日にその

校内発表大会を行いました。全市で行う本選への出場チームを決める大会でもあったので、民間審査員もお呼びしたので、本格的なアワードとなりました。三年生たちは、7月4～6日の三日間を中心に、実に豊かな協働的な学びを展開し、アウトプット

のプレゼンも、寸劇や自作動画を入れ込むなど、様々な工夫がなされ、審査員の方々も非常に驚いておられました。審判員の方々の期待の学びが、高校やその先での学びにつなげていくことを期待しておりました。やっぱり三年はすごい！

郷土探訪 と ものづくり

一年生のさいと学では、地域の歴史や偉人の業績などを探訪し、その背景や魅力などを探究していく学習が展開されています。今年「記紀の道」

「杉安井堰」「石井十次」の探究が行われました。悪天候のため、記紀の道を歩くことはできませんでしたが、ボラ

ンティアガイドの竹之下さんや、市建設課の伊東修司さんに来ていただき、その魅力などを解説していただきました。杉安井堰については、土地改良資料館にて動画や資料から学びました。石井友愛社では見嶋理事長から貴重なお話を聞かせて



記紀の道を整備した伊東修司さんの話



記紀の道ボランティアガイド・竹之下さんの話



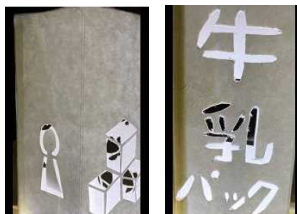
杉安井堰の話聞く様子



石井友愛社での学習

妻高校生とのランタンづくり

妻高校2年文理コースの総合的な探究「つまみらい塾」では、9月2日に、記紀の道を手作りランランで彩るイベントが企画されています。いつも大変お世話になっている妻高校からの協力要請を受け、指導に来てくれた高校生と一緒に、各生徒が熱心にランタンづくりに取り組みました。とてもユニークな作品が出来上がり、9月2日が楽しみです！



ものづくり体験学習の様子



ランタンづくりの様子 ※妻高の2年生が指導に来てくれました！



穂波から壽き田の里

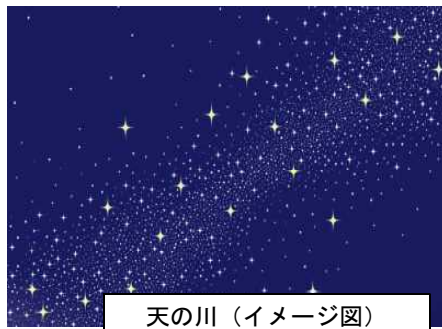
校区内散策③

夏の夜、天球を南北に走

つて見える「天の川」は、夜間照明の発達した高度成長期以降、ほとんど目にするのができなくなっている。ところが、本校区内にある尾八重キャンプ場では、その影響を受けることなく今も天の川が見えると聞いて、晴天日を選んで出向いてみた▼標高800mを超えるこの地では、陽が沈む頃から様々な表情が現れる。まずはマジックアワー(カメラ用語で言う日没後の時間帯)。とりわけキャンプ場西方に見える地蔵岳の姿は、夕陽のオレンジから日没後のブルーアワーまでの移り変わりが実に多彩である。辺りが暗くなって気付くのは、遠く宮崎市・木花の海岸段丘を背景にちらちらと輝き続ける市街地の灯りである。意外にもまるで電飾のようで美しい。さらに頭上を見上げれば、天球のO度に、プラネタリウムでしか見たことがないような満天の星空が広がっていて、圧倒されてしまう▼少し時期が早かったせいで、まだ完全な天の川の姿ではなかったが、その走りともし見える光の帯を見ていると、何だか子どものような気分になって不思議である。きっと昔の人たちも、こんな気分から数々の星座や逸話を創造してきたのではないだろうか。東洋では、この光の帯を川に見立てて織女と牽牛おりひめけんぎゅうの物語を紡ぎ、西洋ではそれを女神・ヘラの母乳に見立ててミルクウエイと呼び、ゼウスやヘラクレスとの逸話を紡いでいる▼文明の過度な進歩は、光害と天の川のように、本質を見えにくくしがちですが「校区内に残る『不易』と向き合うことで、未来の在り方が見えてくるのかもしれない」そんなことも考えさせられる一夜となりました。(校長 伊東泰彦)



真北さんの歌



天の川 (イメージ図)



マジックアワーに映える地蔵岳



たくさんの方にもご参加頂きました

7/12 真北聖子さん

トーク&ライブ実施!

7月12日(火)の5校時、生徒へのキャリア教育+学校保健委員会+家庭教育学級を兼ね、車いすのシンガーソングライター・真北聖子さんのトーク&ライブを実施しました。中学時代までバレー部の主将として活躍しながら、高1で突然の病気…。その後、何度となく困難を乗り越えて今に至っている真北さんのお話や歌声から、たくさんの方を学び、勇気をいただくことができました。

【感想】 ■…生徒 ●…保護者

- 真北さんの「将来のために今を生きる」という言葉が心に残った。自分らしく、限りある人生を生きぬきたい。
- 障がいのある人のことを「かわいそう」と思っていた自分には、知らないうちの「偏見」があったかもしれない。今生きていることに感謝し、障がいのある人を支援したいと思った。
- とても前向きに人生を楽しまれていてすごいな…と思いました。想像以上の困難を乗り越えてこられたのですが、そんなことをみじんも感じさせないすてきな笑顔でした。真北さんの笑顔に元気もらいました。
- 突然の病気を受容し、乗り越え、皆の前でその体験を語ってくださったお姿に感動し、力をもらいました。この会が始まる前にインスタ等でお写真などは拝見していましたが、実際にお話を聞くことで真北さんのすばらしさに触れることができました。チャレンジはどこからでもできる…という勇気をもらえました。

【8月・9月の主な行事】

8月

- 1日…登校日、さいと学アワード(3年生)
- 9~15日…学校閉庁日(職員不在です)
- 23日…キャリア教育研修(職員)
- 25日…二学期始業式
- 26日…五教科グランプリ(テスト)
- 29日…防災安全教室

9月

- 1・2日…実力テスト(3年)、課題テスト(1・2年)
- 16日…生徒会役員選挙
- 24・25日…秋季地区中体連